

時計台

笑顔の登校
感謝の下校

大津町立大津北中学校
〒869-1233
大津町大字大津
310番地
TEL 294-2310
文責 山本幸二

学校教育目標：「夢の実現に向け、一人一人が光り輝く
北中生の育成」

～人権尊重の精神に立った学校づくりを通して～

学校再開に際して

学校が通常通り再開して約2週間が経ちました。新年度が始まってすぐの臨時休校が約2ヶ月続き、生徒同士、生徒と先生が知り合う機会が少なかったこともあり、気持ちや体に疲れを感じている生徒もいるように思います。教職員一丸となって、これからも「心慣らし」「体慣らし」には、更に丁寧に取り組んでいきたいと考えています。6月8日(月)には、通常の学校生活が再開しましたので、私から全校生徒へ校内放送を使ってメッセージを送りました。以下に紹介します。

「本来は、皆さんを前にしてお話しをしたいところですが、集会等は開くことができないので放送にて皆さんに伝えたいことを2点お話しします。

1点目は、これまで人類は、過去の歴史において様々な感染症(天然痘、ペスト、新型インフルエンザなど)を克服してきましたが、この新型コロナウイルス感染症の問題は、今を生きる私たちにとっては、初めての経験することがほとんどで、大人も子どもも我慢を強いられ不自由だったり、不安だったり、心配事も多いことだと思います。皆さん、きつかったり、不安だったり、苦しかったりしたら、遠慮なく近くにいる大人やすぐそばにいる友達に相談してください。一人で我慢しなくてもいいと思います。きついときは『きつい』と言えることが大切です。



2点目は、これから新年度が始まった4月のつもりで担任の先生をはじめ全ての先生方や友達との出会い直しをして欲しい。そして笑顔あふれ、いじめや差別がないみんなが安心して過ごせる大津北中学校にするために、皆さんがお互いの違いを認め、尊重することが大切です。これから、毎日の授業の中で、クラスの生活の中で、部活動の中で、また行事の中で、先生と生徒が、また、一人ひとりの生徒の皆さんが心を通い合わせ信頼できる仲間になってほしいと思います。そんな仲間になれば、きついときは、『きつい』と言える関係になることができると思います。急がず、ゆっくりでいいから学級、学校に慣れていきましょう。そして、この難局を先生方、生徒の皆さんと一緒に乗り越えていきましょう。」



生徒議会、生徒会執行部の思いや意見を聞く会を行いました

6月16日(火)体育館で生徒会執行部や各学級の学級委員で構成される第1回の生徒議会を行いました(写真右)。参加する姿から北中のリーダーとしての意気込みを感じました。皆さんのリーダーとしての活躍を期待したいと思います。生徒議会後は、新型コロナウイルスの影響で様々な学校行事等が中止または延期されている状況の中、教職員でもその対応を議論してきているところですが、生徒の思い、願い、意見をしっかり踏まえ、上で決定していくことを大切にしたいと考え、生徒会執行部約20名から、校長、教頭、生徒会担当職員が意見を聞く会を図書室にて実施しました。体育大会、北の翼祭、駅伝大会などの学校行事に対する思いや願い、意見等から生徒達一人一人がしっかり考えてくれていることが分かりました。出た意見等を踏まえ、更に慎重に協議を重ねていきたいと思っています。



誇れる北中すばらしい

6月18日(木)大津町の教育委員会による学校訪問がありました。意見交換会の中で、大津北中の生徒の校外での挨拶についてお褒めの言葉をいただきました。とても嬉しく思い、早速その日の給食時間に全校生徒に向け、私から校内放送でそのことを伝えました。まさに「誇れる北中」を感じた瞬間でした。

水泳の準備着々と

水泳の授業に向け、プール掃除、水質検査、濾過用の機械の点検等実施しています。6月22日から3密に最大限の配慮して全ての学年での水泳の授業を開始する予定にしています。

